

● 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

たすきに託す 108 年の思い

幣串小学校（坂元英透校長）は1月19日、「へぐしの絆をつなげよう108（年）km、閉校記念駅伝大会」を実施しました。

この日は、児童や家族、乳母車に乗った赤ちゃんから80歳を超える高齢者までの参加者約150人が集まりました。同校が、今年の3月に閉校となることから、開校108年の歴史にちなみ、108kmをたすきでつなぎ、幣串の絆を今後も消さないようにと企画しました。約4時間かかった今大会、最後の卒業生となる荒田桃子さんが「幣串、ファイター」と声をかけながらゴールを切り、思い出深い時間を過ごしていました。



駅伝終了後、横断幕とともに参加者全員で記念撮影↑

獅子島の魅力満喫ツアー 獅子島グリルと甘夏狩り

鹿児島県最北端の島「獅子島」で、島近海で捕れた魚を炭火焼きで食べることができる「獅子島グリル」と、みかんの産地ならではの「甘夏狩り」が1月13、14、27日の3日間、旅行社の企画で実施されました。

この日、県内各地から集まったツアー客らは出水駅を午前8時30分に出発。長島本島の観光名所を観光後、フェリーで獅子島に渡り、今年の夏から注目され始めた「獅子島グリル」を堪能しました。炭火で焼かれる魚からは、香ばしい香りが食欲をそそり「こんなおいしい焼き魚は初めて」と口をそろえていました。昼食後は、片側地区のみかん園でたわわに実る甘夏狩りを行い、袋いっぱい収穫するツアー客もいるなど、旅を満喫していました。

出水市から来た大堂育子さんは「初めての獅子島は楽しかった。自然豊かで食べ物もおいしい」と笑顔で話しました。



↑案内人で、獅子島グリルを考案した、地域力創造アドバイザーの砂田光紀さんから獅子島近海で捕れた魚の説明を受けるツアー客

←たわわに実った甘夏狩りを喜ぶ、出水市から参加した大堂さん

1 作目の「長島物語」と、今回寄贈された「初恋の涙」↓



福ノ浦出身者が書籍を出版、町に寄贈

福ノ浦出身で神奈川県居住の長島要さん（本名：川添用吉さん）が、東京図書出版から出版された「初恋の涙」を、町立図書館に寄贈しました。

長島さんは以前にも「長島物語」を出版し、その際も本町に寄贈。今回2冊目となった「初恋の涙」は、自然環境の大切さや命の重み、人と人の絆をテーマにした心温まる短編集となりました。この書籍は、鷹巣図書館、指江図書館で読むことができます。